

# ぶどうの樹

2021.6

NO. 28



写真：入学式

INDEX

特集1： 姫野新学長就任にあたって

特集2： 外大ビジョン・中期計画

5 チャペル通信

6 大学情報

7 大学情報・新任教員紹介

8 同窓会報告

9 寄付事業のお礼と報告

10 2020（令和2）年度決算報告

# 学長に就任して:ミッションと課題



学長 姫野 順一

長崎外国語大学は小さな大学ですが、イギリスの権威ある新聞社タイムズの姉妹紙THE (Times Higher Education) の2019年の世界大学ランキング日本版の「国際性」で10位にランクされました。2020年には11位、2021年には21位をキープしています。この理由は留学生の派遣比率や受け入れ比率が高いこと、外国人教員の比率が高いことが評価されたと言えます。『週刊ダイヤモンド』『週刊東洋経済』など各種経済誌にも、本学の成長力が高く評価されています。これは中長期計画「長崎外大ビジョン21 (2014-2020)」に基づき7年間実践してきた「グローバル人材の育成」の成果が実ったものといえます。どちらかという国際交流のシステムが評価されたものです。THEの上記ランキングでは、残念ながら2019年・2020年の評価では総合ランキングのランク外でした。しかし直近の2021年の評価をみると、在学生および高校教諭の評価に基づく教育充実度の得点が上昇し、総合評価で全国150～200位に入ってきました。これは本学の教育力の向上を示すものといえるでしょう。

コロナの影響で本学が得意とする国際的な学生間交流が妨げられているのですが、コロナの終息を見据えながら国際性という本学のブランドに磨きをかけ、これを牽引車として教育の質を充実させ、研究力を強化し、国際社会と地域社会が信頼する人材を育成し、大学のブランドを確立していくこと。これが本学のミッションであり課題であると考えます。

4月に学長に就任する直前に、副学長として「多言語多文化グローバル人材」を目指す「長崎外大ビジョン2030」の策定に携わりました。「長崎外大ビジョン21」を発展的に引き継ぎ、これから10年間の大学の将来展望を示すものです。「ビジョン2030」には、11月に予定される日本高等教育評価機構の大学機関

別認証評価への対応も項目として盛り込まれています。またこの間取り組んだコロナ対策も反映されています。このビジョンで明示された建学の精神に基づき、21の戦略と85の施策を実現していくことが学長のミッションとなります。

本学は、「長崎外大ビジョン21」において建学の精神であるキリスト教主義 (利他愛) に基づき、学生に外国語と国際文化を教授研究し、国際的な多文化共生と世界平和に寄与する「多言語多文化グローバル人材」の育成を目指しました。このミッションは長崎に位置する外国語大学のCI (corporate identity) として普遍的な意義をもつものであり、「ビジョン2030」で一段と進化しています。以下ビジョンの4基軸に沿ってミッションの実現に向けた展開と課題を述べていきます。

## A. 教育・研究ビジョン：学生の主体的学びを促し、学修成果の可視化を図り、語学力・コミュニケーション力・就業力の育成により逞しいグローバル人材を育成する。そのための組織マネジメントを確立する。

この目標は教育研究の質を向上させて評判を高め、定員に対する入学出願者を3倍にすることです。今回のビジョンは「育成するグローバル人材像」をDP (ディプロマ・ポリシー) として明確にしています。これを踏まえてCP (カリキュラム・ポリシー) を見直し、AP (アドミッション・ポリシー) を改革するというPDCA (計画・試行・点検・実行) サイクルによる教学マネジメントを「エビデンスに基づいて実行」(EBPM: Evidence-Based Policy Making) していかなければなりません。本学が育成する「多言語多文化グローバル人材」は、DPにおいて「知識獲得力」、「問題解決力」、「コミュニケーション力」、「自己実現

力]、「組織的行動力」の5つを備えた人材と定義されています。端的に言えば、DPIは国際的に通用する語学・教養の知識力と問題発見解決の実践力および組織を生かすコミュニケーション力の要素から構成されています。このような国際的コンピテンシーを育成し、成長させる力 (impact) が本学における「教育の質」であり、これは学生の「主体的な学び」と「教員の教育力」、および職員の共働による「教育・学生支援」と「大学法人の経営・運営力」により獲得されるものです。このDPIによる学生の「育成・成長」を点検 (assess) する「学修成果の可視化」が課題となります。その手段として可視化を支援するソフト「Assessmentor」を導入しました。この活用により外大ブランドの基礎となる教育力の質を可視化します。この延長上に英語だけの特別コースや新課程増設のシーズを探っていきます。

「教育・学生支援 (support)」でも教職共働の力が重要です。教育面では履修指導体制の充実とシラバスの改善を図り、上級生から下級生へ、或いは日本人と外国人学生とのピアサポートを充実させ、分野横断型授業の提供、数理・データサイエンス・AI科目の導入を図ります。学生サービスではワンストップ窓口を整備し、キャリア支援においては海外を含むインターシップを拡充し、DX (Digital Transformation) およびMOOC (Massive Open Online Course) の対応に向けて教育研究メディアセンターにおいてICT基盤の充実に取り組みます。また学生・教職員のニーズに依拠した開かれたライブラリーの確立に向けた改革に取り組み、エビデンスを収集・分析する教学IR体制を確立します。入学者獲得の面では事務職員のアドミッション・オフィサーを配置し、戦略的な高校訪問を展開します。研究面では、ブランドの発信力となる地域と世界平和に貢献できる「新」長崎学研究を強化し、学長裁量経費によりユニークな共同研究をリードします。このような教学マネジメントと研究力の強化が円滑に進むように、学生 (女子学生・留学生・社会人)、教員 (専任・任期付・女性・外国人)、事務職員の意見を聴取する学長懇談会を設置します。

## **B. 国際ビジョン：ポスト・コロナの新しい環境のなかで、設備を充実させ、国際性のプロトランナーとしてアジア・アセアン諸国との国際交流を拡充し、「世界がキャンパス・キャンパスが世界」を展開する。**

2021年はコロナで傷んだ国際交流を修復し立て直す年となります。コロナの下で経験したオンライン授業を国際交流にも活用することが課題です。留学生派遣と受入れが再開されれば、留学派遣学生の留学前と

後の研修を補強します。また学生の主体的な学びを担いとする外大プログラムのなかで、プロジェクト科目やインターン、ボランティア科目を充実し、留学体験者の増加を図ります。またオンラインを用いた国際共同授業 (COIL: Collaborative Online International Learning) を開設します。さらに協定校と協力し、モデルとなる国際共同研究を立ち上げます。UMAP (University Mobility in Asia and the Pacific) などのコンソーシアムに参加し、国際交流プログラムを多様化します。それらの成果はアンケートなどで測定されIR課が集約します。

## **C. 社会貢献ビジョン：卒業生・同窓会、保護者会と連携し、自治体、学校、産業界、地域コミュニティ、他大学といったマルチ・ステークホルダーと提携し、信頼と評判を高め支持を広げる。**

外部評価と広報活動は本学のブランド戦略の要です。そのために協定などを通じて従来の高校・卒業生・保護者に加えて、就職先の企業や地域の団体、自治体との戦略的な連携を強めます。第三の財源である寄付金の定期化と拡充も課題です。外部との連携を図るために実務家教員は大きな力を発揮します。社会貢献を実現するための外部に向けた情報公開と広報活動の体制を強化し、頻繁な御用聞きの仕事を作ります。

## **D. 経営・運営ビジョン：内部質保証の機能を強化し、透明なエビデンスに基づく経営と運営に努め、情報を広く公開し、教育研究基盤を支える。先駆的で特色ある研究人材を登用し、公平で公正な人事管理を実現する。**

学生募集について中国・四国地方までを視野に入れ、積極的なブランド広報活動を仕掛けます。本学の強みを生かしたブランド戦略として、語学6専修による月替わりの外国語フェアを開催します。ユニークなブランドとしての実践英語教育、日本語教育、留学生を生かした地域交流、日本語・英語の教職課程、新長崎学研究の情報発信を強めます。ブランド戦略のためにはHPを充実させ、CBA (費用対効果分析) を考慮したマスメディアの活用、外大SNS立ち上げなどの工夫を行わなければなりません。

以上のような諸活動を円滑に進めるには、人と組織の力 (外大の人的リソース) が最重要です。そのために教職員の働き方には十分配慮し、公平で公正な人事管理に努めます。

# ～多言語多文化グローバル人材の育成に向けて～ 新たなビジョン及び中期計画を策定

現行中期計画「長崎外大ビジョン21」が2020年度を以て事業完了を迎え、本学院並びに長崎外国語大学は、2021年度から新たなビジョンと中期計画に基づいた事業展開を開始します。

## ●長崎外大ビジョン2030（2030年の大学の「在るべき姿」）

新ビジョンの名称は「**長崎外大ビジョン2030**」。

長崎外国語大学は、世界と地域に開かれた高等教育機関として、育成する人材像を「**多言語多文化グローバル人材**」と定義し、「ビジョン2030」の中で、今後10年間の世界と地域社会を展望しつつ、これら人材を社会に輩出する長崎外大とはどのような大学であるか、即ち「2030年の大学の在るべき姿とは何か」ということをステークホルダーに対して示しています。

### 長崎外大ビジョン2030

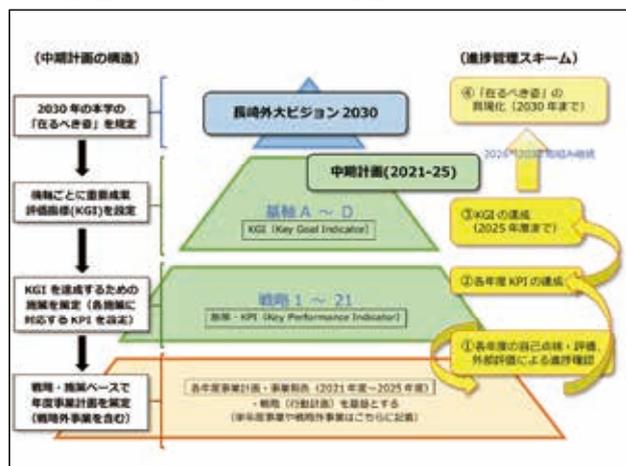
<b>基軸A 教育研究ビジョン</b>
【教育】日本及び諸外国から集まった長崎外大の学生は、教室内外（留学を含む）での学生及び教職員との知的文化的交流の中で、卓越した語学力、幅広い教養、深い専門性、並びに課題解決力等コンピテンシーを身につけ、多言語多文化グローバル人材として地域社会並びにグローバル社会の発展に寄与する高い志を持ち、社会に踏み出す準備ができています。 【研究】長崎外大の研究は、「世界平和と人類の共存共栄の理想を実現する」ために、情報言語コミュニケーションの基盤を開発整備し、その教授法が熟成され、グローバル化の進展と多文化共生における諸課題や地域社会の課題を指し示し、その解決に寄与することができています。
<b>基軸B 国際ビジョン</b>
長崎外大の教職員は、多文化共生の理念に賛同し、自ら優れたグローバル人材としての力を持っている。これらの意欲あふれる教職員によって、研究を踏まえた教授法の改善により優れた多言語多文化教育、キャンパスのグローバル化への取り組みや海外の大学や機関との教育研究上の連携・交流等、国際戦略の展開が活発に行われている。
<b>基軸C 社会貢献ビジョン</b>
【卒業生】長崎外大の卒業生は、どのような職業についているにせよ、世界各国で、また日本やそれぞれの地域で多言語運用力と多文化共生の視野をもった人材として社会や地域の発展に貢献している。多くの卒業生が母校で再び学び、また他の同窓生や地域社会と深くつながり、社会の持続的な発展に寄与している。 【大学】長崎外大は、その人的資源、知的財産を活用して、卒業生・同窓会、保護者会と連携し、自治体、学校、産業界、地域コミュニティ等と交流を図るとともに、様々な社会的ニーズや課題解決に対応できている。情報技術によるコミュニケーション技術の基盤を備えたグローバル・キャンパスとしての環境が整備され、地域の国際交流拠点として地域の発展に寄与している。また、社会をフィールドとする研究を通して社会貢献が行われている。
<b>基軸D 経営・運営ビジョン</b>
長崎外大では、多言語・多文化教育をはじめ、先駆的で特色ある教育・研究と社会貢献活動が活発に展開されている。それを持続的に支える組織体制と強固な財務基盤並びに大学を取り巻く様々な社会変化に対応できるリスクマネジメントが確立されている。教育の質保証と経営の透明性並びにエビデンスに基づく意思決定が確保され、積極的な情報の公表・発信により、社会から厚い信頼を得ている。

## ●「在るべき姿」の実現に向けた「中期計画（2021-2025）」

これらの「在るべき姿」を実現するために、法人及び大学として如何なる事業を展開していくか。それらの方法を纏めたものが「**学校法人長崎学院 長崎外国語大学 中期計画(2021-2025)**」です。「ビジョン2030」の対象期間の前半5年間（2021～2025年度）における取組みを、上記の4基軸に対応するかたちで21の戦略として策定しています。2026年度からの後期5カ年の中期計画は、「中期計画（2021-2025）」に対する自己点検・評価と改善事項を踏まえて、2025年度までに作成する予定です。

「中期計画（2021-2025）」は、「ビジョン2030」の区分を準用した4つの基軸ごとにKGI（Key Goal Indicator）を設け、計画の達成状況を可視化します。更にその下に置かれた21の戦略には、具体的な実施施策としてのアクション・プランと、これに対応するKPI（Key Performance Indicator）を設定することで、計画の進捗状況を途中段階でも随時把握できるようにしています。

### 「中期計画（2021-2025）」の構造



留学生との協働・共修の更なる充実は今中期計画の柱の一つ

今後5年間、本学は、本中期計画の21の戦略及び実施施策（アクション・プラン）を基に、その目指すところを各年度の事業計画等に更に落とし込み、全教職員一体となって、計画の実現、ひいてはビジョンの達成に向けて努力していく所存です。

在学生、卒業生、保護者、地域の皆様、関係企業の皆様等には、本学院並びに長崎外国語大学の教育・研究・社会貢献事業の更なる高度化と拡充に向けて、引き続きのご支援とご指導のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

総務課

## 「伝える言葉」



かわさき かなこ (准教授)  
川崎 加奈子 (准教授)

ハンナはそれから食事をしたが、彼女の表情はもはや前のようではなかった。

(サムエル記上1章18節)

私は留学生に日本語を教えています。初めてこの仕事に就いたのは、30年前、東京の小さな日本語学校です。20人ほどのクラスはいつもガヤガヤとおしゃべりばかりでした。

ある日、そのおしゃべりが一際高くなり、私はけんか腰に言いました。「静かにしてください!」。するとテイさんという学生が、私をキッと睨んで、言いました。「今、日本にいられるかどうか、ビザの話をしてるんです!」「だからって、今話さなくてもいいじゃない!」私が言うと、「先生には私たちの気持ちはわからない!」と返されました。

「先生には私たちの気持ちはわからない。」今でも思い出して、体が凍るような思いがします。その言葉がきっかけで、私は自分も海外で暮らす辛い経験をしなければ日本語教師は続けられないと思うようになりました。そして、ちょうどその後、機会を得て、外国で日本語を教えることになりました。

赴任地は地方の小さな大学で、町にいる外国人は大学の語学教師ばかり、日本人は私一人です。インターネットはもちろん、携帯電話もない頃ですから、日本語で話す相手はだれもいません。しばらくすると、耳は外国語に慣れ、周りの言っていることがだいたいわかるようになります。でも、自分が思っていることはなかなか言葉にできません。言いたいことを言えないで私がイライラしている目の前で「こいつには言ってもわからない」と言われているのを聞いて、何度も唇を噛みました。ただ、そんな経験をする中で、日本語学校でテイさんたちを傷つけたことの償いができているような気持ちにもなっていました。

帰国して、ある人が聖書の一節について話しているのを聞く機会がありました。苦しみ嘆く一人の女性が泣きながら神に祈る場面です。それを見ていた祭司が、「あなたの願いを神様が聞き届けてくださるといいね」と女性に言います。その後の女性は、それまでとは違う明るい人になった、という話です。私はそのときまで何の変哲もないエピソードだと思っていましたが、解説してくれた人が言いました。女性は願いが叶ったから変わったのではない、苦しみを神様に聞いてもらえたというそのことが、女性を救ったのだと。

今回、奨励のお話をいただいたとき、30年前の日本語学校での出来事と、この聖書の一節を思い出しました。私はずっと、自分が苦しむことが当時の学生たちへの償いになると考えていましたが、そうではなかったことに、今回初めて気がつきました。私がやるべきだったのは、海外に行くことではなく、学生たちの言葉に耳を傾ける、ただそれだけだったのです。

みなさんは、自分の苦しみを伝える言葉を持っていますか。苦しみを伝える相手がすぐそばにいることに、気が付いていますか。そして何よりも、みなさん自信が苦しみを聞いてあげられる存在であることに気が付いていますか。

どうぞ神様、私たちがいつも学生や仲間の声を聞く耳を持つことができますように、自分の思いを伝えるための学生たちの言葉の習得を、十分に支える働きができますように、思いを伝え合うところにあなたがいつもいてくださって、お互いを思いやることができますようにお導きください。

(2020年7月15日 チャペルアワー奨励から)

長崎外国語大学開学20周年記念事業フルベッキ展「ギド・フルベッキと長崎」を開催しました

ギド・フルベッキは、幕末にプロテスタント宣教師としてアメリカオランダ改革派教会から日本に派遣されて日本にプロテスタントの種を蒔き、英語を用いて欧米の近代的な知識を普及し、明治維新の推進者たちに大きな影響を与えました。また、その影響下で政府要人となった大隈重信の求めで遣欧使節団を提唱し、明治政府に招聘されて日本の近代化に大きな足跡を残し、その縦横な活動は、10年に渡る長崎における活発な活動を基盤としていました。このようなフルベッキによるキリスト教精神に基づく日本の啓蒙は、長崎学院を創設した青山武雄先生の建学の精神でもありました。



期間：2020年11月3日（火・祝）～11月29日（日）  
会場：ナガサキピースミュージアム

このフルベッキ展では、日本の夜明けとなる幕末の長崎時代に焦点をあてて、フルベッキの宣教と教育、およびその交流関係について史資料やフルベッキの著述、古写真を用いて再現し、多くの方々にご来場いただきました。

長崎外国語大学 新長崎学研究センター

TEL：095-840-2006 FAX：095-840-2206

E-Mail：recnas@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

英語ボキャブラリーコンテストは今年で14年目を迎えます

第12回大会



優勝：精道三川台高等学校  
準優勝：久留米大学附設高等学校

第13回大会



優勝：鹿児島情報高等学校  
準優勝：柳川高等学校

英語ボキャブラリーコンテストは、2008年11月に第1回大会が行われ、今年で14年目を迎えます。

本コンテストは、高校生を対象とした語彙力を競う大会で、3名1チームで外国人教員が読み上げる定義文を聴き、3名で話し合って答えをパソコンに入力しチームの解答を示します。

昨年の第13回大会は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い急遽オンラインでの開催となりました。

今年は12月11日（土）に開催します。詳細は決まり次第本学ホームページに掲載します。

【歴代優勝高校】

第1回：大津高校(熊本)、第2回：活水高校(長崎)、第3・11回：佐世保西高校(長崎)、第4・6回：久留米大学附設高校(福岡)、第5回：大村高校(長崎)、第7回：延岡星雲高校(宮崎)、第8回：小倉南高校(福岡)、第9・10・12回：精道三川台高校(長崎)、第13回：鹿児島情報高校(鹿児島)

長崎外国語大学

TEL：095-840-2006 FAX：095-840-2206

E-Mail：renkei@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

旅程管理研修のご案内

本学院は、学校法人では初めて観光庁長官登録研修機関(第23号)として2006年12月に認可を受けた研修機関で、翌年4月より添乗員(ツアーコンダクター)として必要な「旅程管理主任者」資格が取得できる「旅程管理研修」を開講しています。

旅程管理主任者とは、旅行会社が企画した国内・海外の団体・パッケージ旅行などに同行し、ツアー出発から解散まで、旅行条件に基づいて安全且つ円滑に旅行ができるように管理する仕事です。

添乗員(ツアーコンダクター)や旅行業界への就職を目指す学生はもとより、旅行業に関心をお持ちの一般の方々にも受講していただいています。

2021年3月現在で、総合・国内あわせて614名の方々が旅程管理研修を修了されました。

旅程管理研修の受講者・修了者報告(2007年度～2020年度修了分まで)

	総合	総合 (国内免除)	国内	合計
受講者数	480	17	200	697
修了テスト受験者数	476	17	200	693
修了者数	414	14	186	614

お問合せ先

学校法人長崎学院 長崎外国語大学  
旅程管理研修機関事務局

TEL：(095) 840-2006

FAX：(095) 840-2206

E-MAIL：ryotei@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

研修についての詳細は、  
本学ホームページをご覧ください。



## 寄付者のご紹介



2021年2月5日に、本学で「日本伝統文化実習」をご担当されている富永和美先生より、ご寄付をいただきました。

**みかん10箱、にんじん2箱、たまねぎ2箱、トマト2箱**

ご寄付いただきました食べ物・野菜は、アンペロス寮に住んでいる留学生約50名に分けられました。  
心より御礼申し上げます。

国際交流センター事務局 馬 賢鳴

## 2021年度新任教員紹介



4月から留学生向けの教養科目のうち、日本文化、日本社会に関する科目などを担当しています。専攻は江戸時代から明治時代にかけての日本史です。長崎県域を主なフィールドとして調査研究に取り組んでいます。

本学着任前は大村市や長崎市などの地方自治体で、文化観光行政に携わってまいりました。これまでの経験を生かしながら、日本人学生・留学生を問わず、日本の歴史・文学・文化・民俗に対する興味関心をいっそう深めることができるよう、授業を通じて手助けができればと考えています。

国際色豊かな歴史に彩られた長崎の町で、長崎外国語大学の一員として皆様とともに学習できることがとても嬉しいです。どうかよろしく願いいたします。

藤本健太郎

外国語学部国際コミュニケーション学科／講師



I am delighted to join the team at the university from this Spring 2021. I am from England and graduated in Oriental Studies from the Queens College, Oxford University but my story with Japan goes back quite a few years. I first came to Japan in 1993 to study Japanese and teach English in the Tokyo area. After 4 years in Japan, I returned to the UK and worked for the Japanese Embassy in London for many years – studying more Japanese in the meantime and developing an interest in Classical and premodern Japanese. I returned to Japan in 2017 and returned to my greatest love, teaching and languages! I want to bring my passion for exploring the wonders of language study both modern and ancient to every student I encounter. Let's explore together!

カリス・スティーブズ

外国語学部現代英語学科／特別任用講師



It is my great pleasure to join the faculty of Nagasaki University of Foreign Studies. I have lived in several places in Japan – Fujisawa, Sendai, Omura, and now Nagasaki. Every place I go in Japan I always receive a warm welcome. I have studied English Literature at the University of Miami where I received my bachelor's degree. I also studied International Relations at Florida International University where I received my Ph.D. I love writing! I have written for many magazines, including The Diplomatic Courier, e-IR, and East Asia Forum. I also love to write fiction. My fiction has been published in Linnet's Wings, Crack the Spine, and other magazines. My most popular novel is The Ghosts of Nagasaki. I am hard at work on a new novel right now. In my free time, I love reading books. My favorite authors are Kurt Vonnegut, Haruki Murakami, and Douglas Adams. I look forward to sharing my many passions with all of you. どうぞよろしく願いいたします。

ダニエル・クラウセン

外国語学部現代英語学科／特別任用講師



この度、新卒職員として入職いたしました、キャリア支援課の太田と申します。3月に県内の大学を卒業し、1ヶ月後には職員という立場で再び大学に関われることを嬉しく思っております。

大学時代には英語を専門に学び、学内だけではなく積極的に学外での活動にも参加したり、長期休暇の際には海外へ旅行に行ったりと充実した学生生活を送ってきました。

私自身コロナ禍のとても厳しい状況の中で就職活動を行ってきましたので、学生の皆さんには、その経験を活かした私なりのサポートができればと思っております。初めてのことばかりで至らない点も沢山あると思いますが精一杯尽力して参ります。これからどうぞよろしくお願い致します。

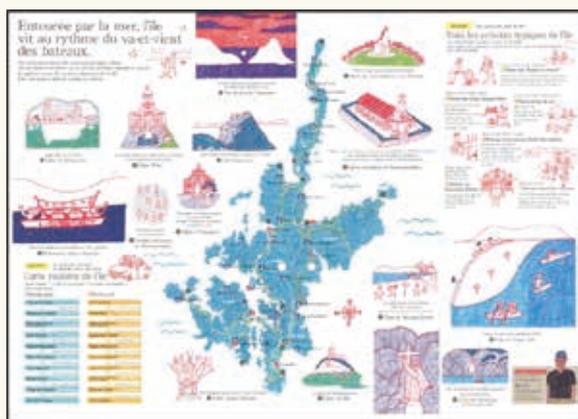
太田 愛理

キャリア支援課／職員

## 「上五島の旅Map」を多言語に翻訳しました

地域経済の活性化及び地域社会の発展に寄与することを目的として、本学は新上五島町と地元企業（株式会社十八銀行）と産官学三者包括連携に関する協定を締結（2018年3月23日付け）しています。

プロジェクト科目の「新上五島グローバル化プロジェクト～上五島への誘い～」で、学生達は現地を訪れ地域経済の活性化に向けた活動を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で現地へ行くことは断念しました。そのため、「上五島の旅Map」を多言語（英語、フランス語、中国語の繁体字・簡体字、韓国語）に翻訳して地域の課題解決に向けた活動を行いました。



長崎外国語大学 総務課

TEL : 095-840-2000 FAX : 095-840-2001

E-Mail : soumu@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

## ● 同窓会だより ●

### 同窓会より “お願い” します！

ご住所・電話番号・姓名に変更がございましたら、すぐに下記同窓会事務局へご連絡下さい。

記

- ① 姓 名・・・新姓にフリガナをお願いします。
- ② 卒業年・大学種別・・・4年制大学 (D)  
短期大学 (T)  
専門学校 (S)
- ③ 現住所・・・〒番号・ご住所
- ④ 固定電話番号・携帯・e-mail等です。
- ⑤ 死去の場合、物故者一覧へ登録いたしますので、ご家族は早めに同窓会事務局へお知らせください。

※住所アドレスの右下に卒業生の上記記載のD、T、Sの大学種別があり、横に同窓会会員番号が記載されています。学籍番号とは違いますのでご注意ください。 以上

長崎外国語大学同窓会事務局

〒851-2196 長崎市横尾3丁目15番1号

電話&FAX : 095-840-2010 (同窓会直通)

e-mail : n-gaigodousokai@athena.ocn.ne.jp

## 教育研究の整備に関わる寄付事業のお礼と報告

平成27年4月から開始いたしました「教育研究の整備に関わる寄付事業」は令和3年3月末現在で776件、30,675,000円（内、令和2年10月1日～令和3年3月31日：41件、501,000円）のご寄付を賜り、ご支援をいただきました同窓会、保護者会、取引先、在学生保護者を始めとした多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

なお、皆様から賜りました寄付の内から2,300,000円を令和2年度下期に教育環境整備の一環としての実施いたしました学内LAN整備および体育館照明工事費用の一部に充当させていただきました。

皆様の温かいご支援にお応えすべく、教育環境の整備のために鋭意努力をして参る所存でございますので、今後とも本事業の趣旨にご理解とご協力をお願い申し上げます。



### 寄付者ご芳名一覧 令和2年10月～令和3年3月ご寄付分 たくさんの温かいご支援ありがとうございました

#### 個人の部

(敬称略)

安藤 伸吉	川原 仁幸	中島 淳	ハリントン ジャロッド	久富 雅夫	本多 國洋	森 隆子
石井 眞紀子	田中 理恵	中山 良秀	橋本 静一郎	平下 美登里	前田 英輝	森脇 浩
岩田 耕作	出口 すゞ美	野中 誠司	原野 浩二	平田 康子	松尾 博則	安田 正次
小川 昭利	道崎 満寿男	延田 恵	春海 賢一	平田 芳文	丸山 恵子	山本 哲哉

#### 法人の部

DEIT'z 株式会社 有限会社 ランカードコム

## 新長崎学研究に関わる寄付事業のお礼と報告

平成28年4月から開始いたしました「新長崎学研究に関わる寄付事業」は令和3年3月末現在で208件、12,171,000円（内、令和2年10月1日～令和3年3月31日：36件、477,000円）のご寄付を賜り、ご支援をいただきました多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

なお、皆様から賜りました寄付の内から2,640,000円を平成2年度下期に新長崎学研究センター研究叢書発刊費用および貴重図書に係る研究資料・書籍購入費用に使用させていただきました。

今後ともグローバル人材の育成という本事業の趣旨にご理解とご協力をお願い申し上げます。



### 寄付者ご芳名一覧 令和2年10月～令和3年3月ご寄付分 たくさんの温かいご支援ありがとうございました

#### 個人の部

(敬称略)

栗屋 曠	小川 昭利	小道 隆	道崎 満寿男	橋本 静一郎	久富 雅夫
植木 啓子	河瀬 砂織	佐藤 安里紗	長岡 恭子	原田 澄	前田 裕一郎
宇田川 太江子	川原 仁幸	知名 清	長崎外国語大学同窓会 会長 岩田耕作	原野 浩二	森 隆子
大路 礼子	岸川 善彦	出口 すゞ美	延田 恵	春海 賢一	

#### 法人の部

DEIT'z 株式会社 株式会社 チョープロ

## 寄付に係る税金（所得税・住民税）の優遇制度について

寄付をされると次の要領で税金が戻ってきます。詳しくは、法人事務局財務課までお問い合わせください。

**個人** 寄付金が2千円を超える場合は、超えた金額に40%を乗じた金額が税額控除されます。【(注)：寄付金額は年間総所得金額の40%、税額控除は所得税額の25%がそれぞれ限度額となります。】

地方自治体が条例指定している場合は住民税についても寄付金控除が適用されます。

※各自治体の条例指定の有無につきましては、各自治体によって異なりますので、ホームページ等でご確認ください。直接自治体へお問い合わせください。

**法人** 受配者指定寄付金によって、日本私立学校振興・共済事業団を通じて寄付していただきますと、法人税法上、その寄付金を全額損金へ算入できます。【事前の手続きが必要です。ご説明をいたしますので寄付の際は大学にお申し出ください。】

### ご寄付のお申し込みについて

お電話またはメールで、ご住所、お名前をお知らせください。  
法人事務局よりご説明および必要書類をお送りいたします。

お問い合わせ先

学校法人長崎学院 長崎外国語大学 法人事務局 財務課 (担当：森脇・前田)  
Tel : 095-840-2003 (法人財務課直通) Email : keiri@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

# 学校法人 長崎学院 2020 (令和2) 年度決算報告

学校法人長崎学院は「長崎外大ビジョン21」に沿って財務基盤の確立および財務体質の強化に努めています。大学の収入の源泉は「学生生徒等納付金」「補助金」「付随事業収入」「寄付金」「その他」の5つに大別されますが、その内でも「学生生徒等納付金」は2020年度の事業活動収入の62.8%を占めています。

## 【事業活動収支計算書 収入の部】

コロナ禍による外国人留学生の受入減少により学生生徒納付金は前年度比6,394万円の減収（前年度比92.8%）となりましたが、日本人学生の確保に努め、本年度の1年次入学生数（5月1日付）は209名（前年比11名増、入学定員170名、入学定員充足率122.9%）、総在籍者数（5月1日付）は838名（前年同月比50名増、収容定員740名、収容定員充足率113.2%）となり、入学定員、収容定員共に4年連続で充足することとなりました。

補助金収入においては、今年度から発生した修学支援法に基づく授業料減免交付金の国庫補助金計上額6,455万円を除き比較すると、特別補助の内、改革総合支援事業が、申請した3項目全て採択となりましたが、一般補助の定員超過による増減率低下を主因とする減収と特別補助の本学の特別奨学金及び外国人留学生学費減免に係る補助項目の削除による減収が響き、経常費補助金全体においては前年度比2,219万円の減収となりました（前年度比87.6%）。

## 【事業活動収支計算書 支出の部】

人件費は退職者の増加により前年度比6,305万円の増加となりました（前年度比110.9%）。

教育研究経費は新型コロナウイルスの影響による外国人留学生の入学減少に伴う奨学金の減少や出張中止等で前年度比3,115万円の減少となり（前年度比91.0%）、管理経費はアンペロス寮の秋学期寮食中止等により前年度比2,660万円の減少となりました（前年度比88.4%）

特別支出においては、「急傾斜地崩壊対策事業」に係る本学院校地の長崎県への無償譲渡（寄付）に伴う土地処分差額7,783万円を計上しました。

以上の結果、基本金組入前当年度収支差額は5,858万円となり、前年度比9,096万円減となりました（前年度比39.2%）。また、翌年度繰越支払資金は3億395万円（前年度比2,071万円減）となり、前受金収入1億9,720万円を1億675万円上回る結果となりました。

## 資金収支計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

〔収入の部〕				〔支出の部〕			
(単位:円)				(単位:円)			
科目	前年度	決算	差 異	科目	前年度	決算	差 異
学生生徒等納付金収入	890,227,500	826,290,880	△ 63,936,620	人 件 費 支 出	585,459,905	641,040,119	55,580,214
手数料収入	10,434,937	9,625,914	△ 809,023	教育研究経費支出	271,109,360	240,234,097	△ 30,875,263
寄付金収入	6,257,010	7,192,000	934,990	管理経費支出	184,305,273	157,756,015	△ 26,549,258
補助金収入	183,601,120	228,120,633	44,519,513	借入金等利息支出	24,262,555	19,339,629	△ 4,922,926
資産売却収入	0	0	0	借入金等返済支出	353,337,929	285,026,008	△ 68,311,921
付随事業・収益事業収入	187,927,335	159,539,149	△ 28,388,186	施設関係支出	14,099,420	37,836,920	23,737,500
受取利息・配当金収入	42,983	42,619	△ 364	設備関係支出	24,117,051	31,785,824	7,668,773
雑収入	49,174,344	84,498,096	35,323,752	資産運用支出	40,000,000	10,000,000	△ 30,000,000
借入金等収入	233,000,000	175,000,000	△ 58,000,000	その他の支出	41,041,110	66,282,373	25,241,263
前受金収入	243,612,050	197,199,300	△ 46,412,750	[予備費]	—	—	0
その他の収入	40,870,574	41,697,421	826,847	資金支出調整勘定	△ 36,074,866	△ 67,255,566	△ 31,180,700
資金収入調整勘定	△ 316,093,842	△ 327,870,700	△ 11,776,858	翌年度繰越支払資金	324,662,791	303,952,684	△ 20,710,107
前年度繰越支払資金	297,266,517	324,662,791	27,396,274	支出の部合計	1,826,320,528	1,725,998,103	△ 100,322,425
収入の部合計	1,826,320,528	1,725,998,103	△ 100,322,425				

## 活動区分資金収支計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)				(注記)				
				活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。				
				(単位:円)				
項目	収入	支出	差引	項目	資金収支計算書計上額	教育活動による資金収支	施設整備等活動による資金収支	その他の活動による資金収支
教育活動による資金収支	1,304,055,833	1,038,850,231	265,205,602	前受金収入	197,199,300	197,199,300	—	—
			△ 98,655,486	前期末未収入金収入	39,277,598	37,325,598	1,952,000	—
			166,550,116	期末未収入金	△84,298,650	△78,641,650	△5,657,000	—
施設整備等活動による資金収支	11,053,000	69,622,744	△ 58,569,744	前期末前受金	△243,572,050	△243,572,050	—	—
			△ 28,396,073	収入計	△91,393,802	△87,688,802	△3,705,000	—
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	138,154,043			前期末未払金支払支出	36,126,094	29,552,683	6,573,411	—
その他の活動による資金収支	177,620,281	336,391,082	△ 158,770,801	前払金支払支出	8,310,834	8,122,491	21,648	166,695
			△ 93,349	前期末前払金	△2,874,112	△2,800,766	—	△73,346
			△ 158,864,150	期末未払金	△64,381,454	△23,907,724	△40,473,730	—
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 20,710,107			支出計	△22,818,638	10,966,684	△33,878,671	93,349
前年度繰越支払資金	324,662,791			収入計-支出計	△68,575,164	△98,655,486	30,173,671	△93,349
翌年度繰越支払資金	303,952,684							

## 事業活動収支計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目		前年度	決算	差異	
教育活動収支	事業活動収入	学生生徒等納付金	890,227,500	826,290,880	△ 63,936,620
		手数料	10,434,937	9,625,914	△ 809,023
		寄付金	1,246,000	2,046,000	800,000
		経常費等補助金	181,649,120	222,463,633	40,814,513
		付随事業収入	187,927,335	159,539,149	△ 28,388,186
	雑収入	49,069,344	84,340,257	35,270,913	
	① 教育活動収入計	1,320,554,236	1,304,305,833	△ 16,248,403	
	事業活動支出	人件費	578,841,771	641,890,199	63,048,428
		教育研究経費	346,109,997	314,957,122	△ 31,152,875
		管理経費	229,872,799	203,277,645	△ 26,595,154
徴収不能額等		0	133,500	133,500	
② 教育活動支出計	1,154,824,567	1,160,258,466	5,433,899		
③ 教育活動収支差額	165,729,669	144,047,367	△ 21,682,302		

科目		前年度	決算	差異	
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	42,983	42,619	△ 364
		その他の教育活動外収入	0	0	0
	④ 教育活動外収入計	42,983	42,619	△ 364	
	支出	借入金等利息	24,262,555	19,339,629	△ 4,922,926
		その他の教育活動外支出	0	0	0
	⑤ 教育活動外支出計	24,262,555	19,339,629	△ 4,922,926	
	⑥ 教育活動外収支差額	△ 24,219,572	△ 19,297,010	4,922,562	
⑦ 経常収支差額	141,510,097	124,750,357	△ 16,759,740		

科目		前年度	決算	差異	
特別収支	収入	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	9,240,200	11,839,323	2,599,123
		⑧ 特別収入計	9,240,200	11,839,323	2,599,123
	支出	資産処分差額	1,144,536	77,825,788	76,681,252
		その他の特別支出	59,525	180,000	120,475
		⑨ 特別支出計	1,204,061	78,005,788	76,801,727
	⑩ 特別収支差額	8,036,139	△ 66,166,465	△ 74,202,604	
	⑪ 予備費	—	—	0	
	⑫ 基本金組入前当年度収支差額	149,546,236	58,583,892	△ 90,962,344	
	⑬ 基本金組入額合計	△ 134,167,826	△ 40,688,701	93,479,125	
	⑭ 当年度収支差額	15,378,410	17,895,191	2,516,781	
	⑮ 前年度繰越収支差額	△ 2,948,655,213	△ 2,933,276,803	15,378,410	
	⑯ 基本金取崩額	0	0	0	
	⑰ 翌年度繰越収支差額	△ 2,933,276,803	△ 2,915,381,612	17,895,191	

(参考)

⑱ 事業活動収入計	1,329,837,419	1,316,187,775	△ 13,649,644
⑲ 事業活動支出計	1,180,291,183	1,257,603,883	77,312,700

## 貸借対照表

令和3年3月31日

(単位：円)

(単位：円)

資産の部			
科目	前年度末	今年度末	増減
固定資産	5,544,162,926	5,424,339,836	△ 119,823,090
有形固定資産	5,437,903,052	5,304,620,133	△ 133,282,919
特定資産	90,000,000	100,000,000	10,000,000
その他の固定資産	16,259,874	19,719,703	3,459,829
流動資産	367,293,949	396,562,168	29,268,219
資産の部合計	5,911,456,875	5,820,902,004	△ 90,554,871
負債の部			
科目	前年度末	今年度末	増減
固定負債	1,226,458,386	1,098,686,402	△ 127,771,984
流動負債	541,112,373	519,745,594	△ 21,366,779
負債の部合計	1,767,570,759	1,618,431,996	△ 149,138,763

純資産の部			
科目	前年度末	今年度末	増減
基本金	7,077,162,919	7,117,851,620	40,688,701
第1号基本金	6,998,162,919	7,038,851,620	40,688,701
第4号基本金	79,000,000	79,000,000	0
繰越収支差額	△ 2,933,276,803	△ 2,915,381,612	17,895,191
翌年度繰越収支差額	△ 2,933,276,803	△ 2,915,381,612	17,895,191
純資産の部合計	4,143,886,116	4,202,470,008	58,583,892
負債及び純資産の部合計	5,911,456,875	5,820,902,004	△ 90,554,871



## 保護者会



バルーンリリース

「3・2・1… 卒業おめでとう」の声と共に放たれた2,500個のバルーン。  
3月19日に実施した2020年度卒業式のひとつです。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむを得ず中止した卒業パーティーに代え、昨年度に引き続きキャンパスでバルーンリリースを実施しました。  
当日は風向きも良く、卒業生たちは空高く舞い上がったバルーンをいつまでも目で追いかけていました。

学生支援課 山本 哲哉

## 長崎外大 2021年度 年間スケジュール

今年も本学では以下のイベントを予定しています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になった行事もあります。

春	4月1日	2021年度春季入学式
	5月22日	スポーツ大会 (中止)
	5月23日	長崎外国語大学保護者会定期総会 (中止)
	6月12日・26日	学校見学会 (オープンキャンパス)
夏	7月17日・31日	学校見学会 (オープンキャンパス)
	7月21日	留学許可書授与式
	8月7日～9月14日	夏季休暇 (夏休み)
	8月8日・28日	学校見学会 (オープンキャンパス)
秋	9月22日	秋季入学式
	9月24日	秋季卒業式
	10月7日	インターナショナル・デイ (午後)
	10月17日・24日	長崎外国語大学地区別保護者懇談会 (長崎・福岡)
冬	10月30日・31日	第70回外語祭
	12月1日	創立記念礼拝
	12月15日	長崎外大スピーチ大会
	12月22日	全学クリスマス礼拝
	2月10日～3月31日	春季休暇 (春休み)
	3月5日	保護者対象留学事前説明会
	3月18日	2021年度春季卒業式
	3月26日	学校見学会 (オープンキャンパス)

※既に実施済のものを含みます。予定は諸事情により変更されることがあります。